

# 沖縄県新型コロナウイルス感染症発生動向報告

沖縄県疫学・統計解析委員会

## 【現状】

### 新規陽性者数・実効再生産数

沖縄県における先週（11月8日-14日）の新規陽性者数は、16人（先々週49人）でした。沖縄本島（周辺離島を含む）における週あたりの実効再生産数(R)は **0.28** (95%CrI:0.15, 0.47)（図1）、このうち那覇市の実効再生産数(R)は **0.25** (95%CrI:0.05, 0.59)でした。また、宮古は **1.48** (95%CrI:0.14, 5.63)、八重山は **0.40** (95%CrI:0.01, 1.50)でした。

### 保健所管轄区域別推移

保健所管轄区域別（7日間合計）では、北部0人（先々週0人）、中部10人（先々週28人）、那覇市0人（先々週7人）、南部5人（先々週13人）、宮古1人（先々週0人）、八重山0人（先々

週0人）でした（図2）。やや中部で持続していますが、全県的に小康状態となっています。

### 渡航者関連

先週の新規陽性者のうち、疫学調査で渡航歴を認めた者はいませんでした。

### 入院患者数推移

入院患者数は、先週末（11月14日時点）で7人と11月7日時点11人より減少しています。酸素投与など中等症患者5人と11月7日時点7人から低下しています。気管挿管など重症患者は、先週1名発生していますが、先週末時点では0人です（図3）。

## 【今後の見通しと対策】

沖縄県内では、流行が抑制された状態を維持しています。ここまで減少した背景には、ワクチン接種が進んだことに加えて、活動的な若い世代において感染予防に協力いただいたことがあると考えられます。現在は本土も含めて全国的に小康状態にあるため、再流行が始まるリスクは低くなっています。

今後は集団感染を早期に探知するなど、感染拡大のきっかけを減らしていく必要があります。沖

縄県における検査体制は、全国でも高いレベルで維持されています。症状を認める際には、できるだけ早期に検査を受けていただくなど、引き続き疫学調査への協力をお願いします（図4）。

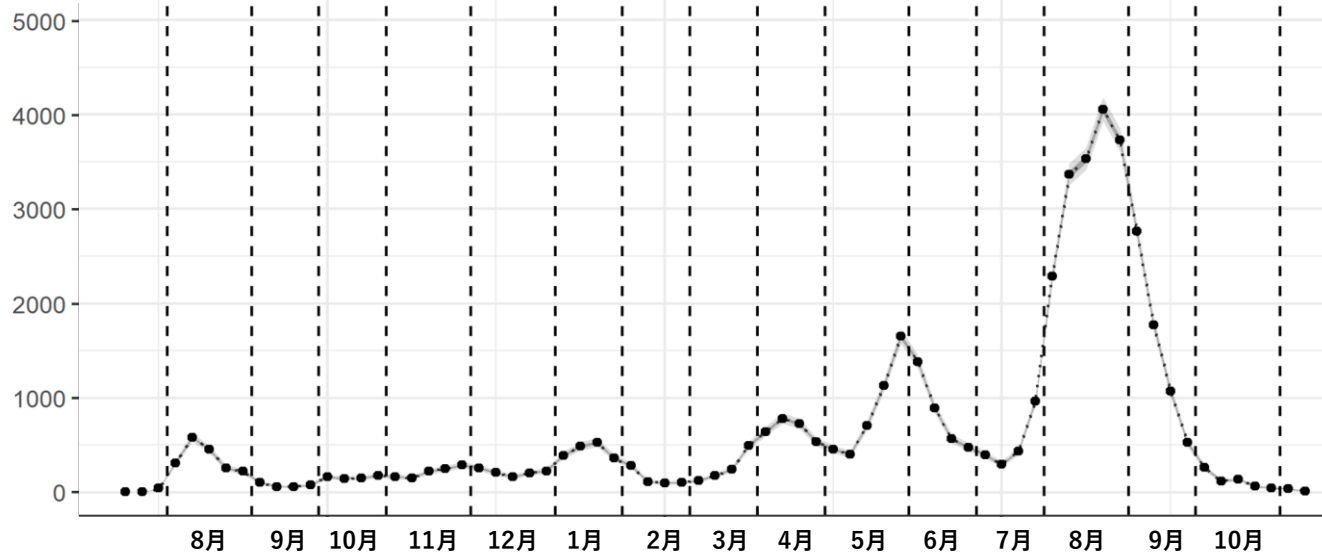
今週の新規陽性者数は、10-20人と減少もしくは横ばいで推移すると見込みます。一方、入院患者数については、引き続き10人以下と低いレベルが保たれると推定します（図5）。

# 図1 陽性者数の推移と実効再生産数 (北部、中部、南部)

## 陽性者数 (確定日)

週あたり観察値

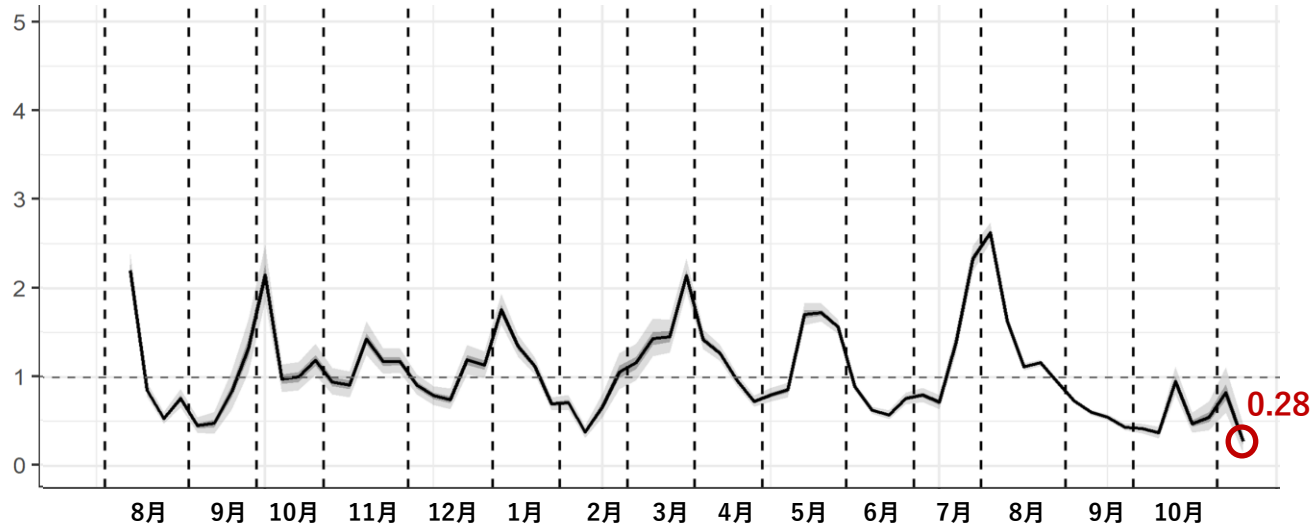
北部、中部、南部医療圏  
(宮古・八重山を除く)



## 実効再生産数

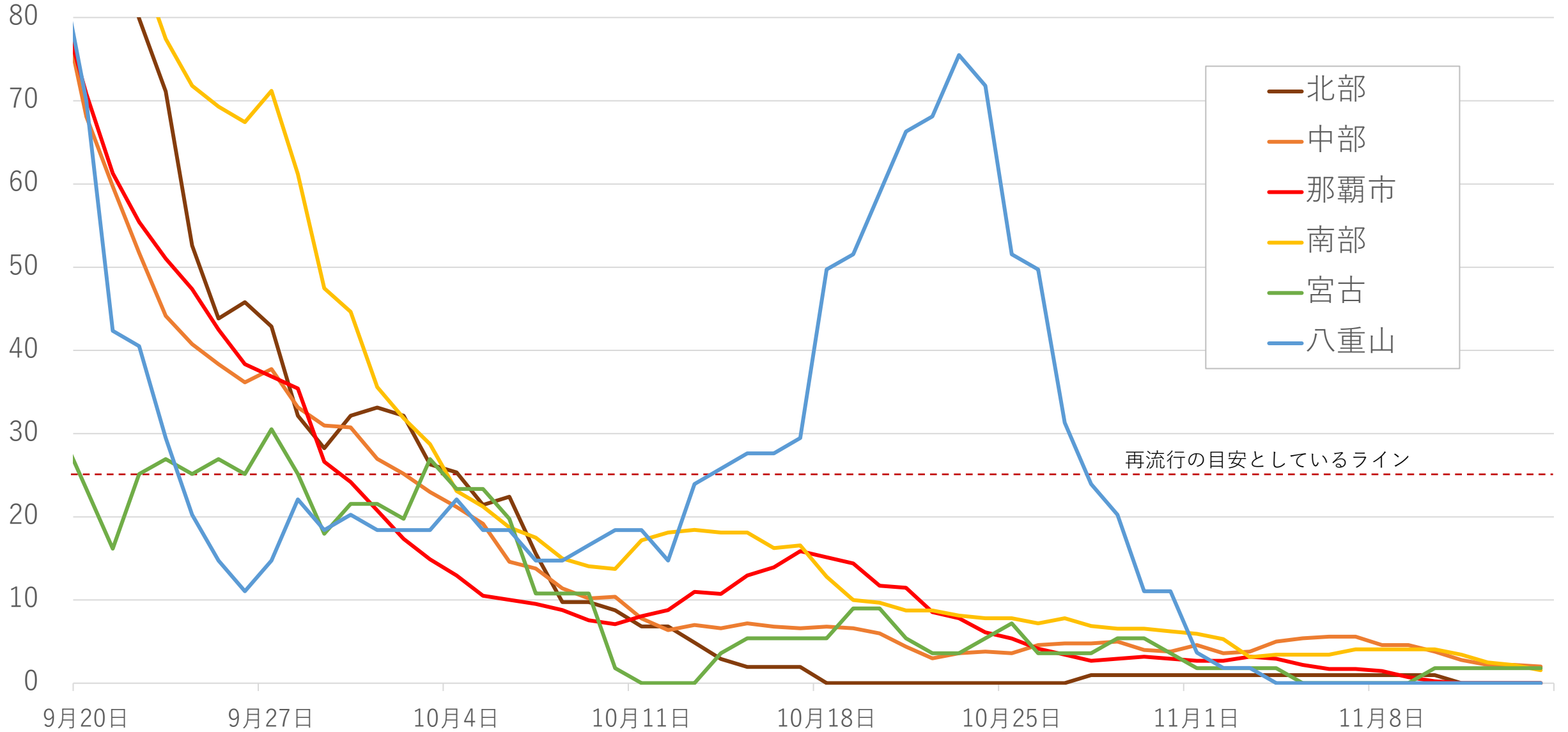
週あたり推定値

北部、中部、南部医療圏  
(宮古・八重山を除く)

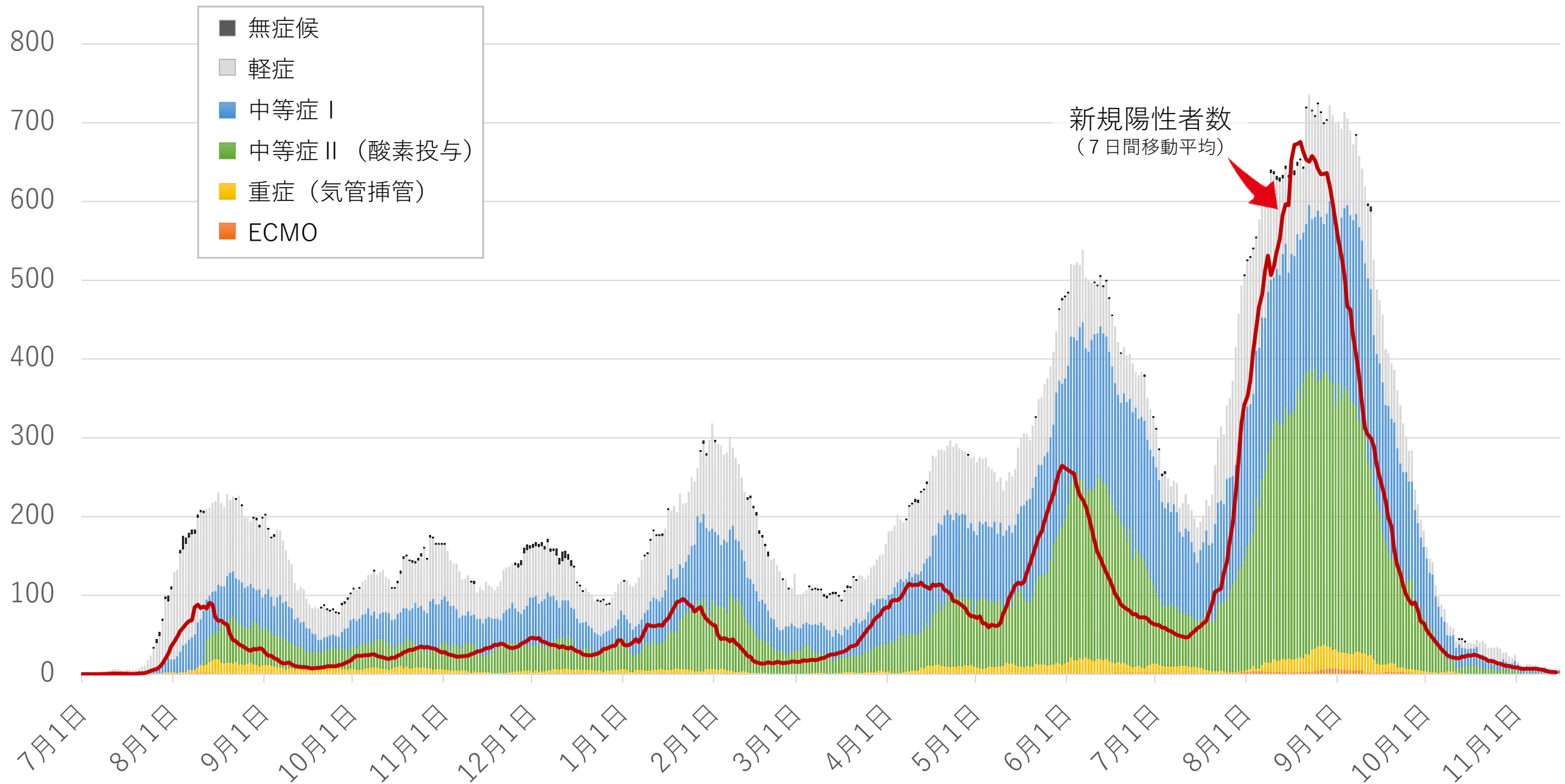


# 図2 保健所管区別に見る新規陽性者数の推移

人口10万人あたり7日間合計

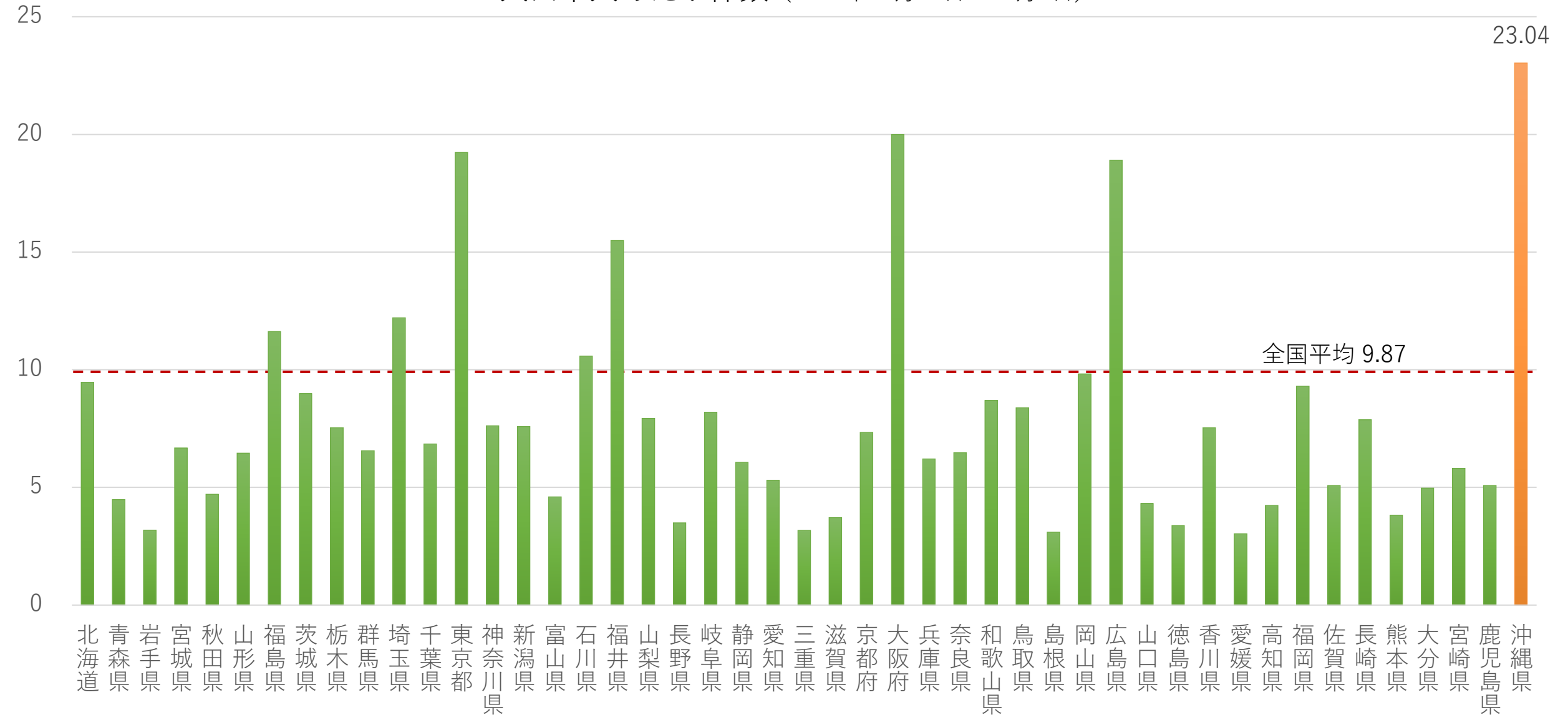


# 図3 新規陽性者数および重症度別入院患者数



# 図4 都道府県別にみるPCR検査実施件数

人口千人あたり件数（2021年10月11日～11月7日）



※ 厚生労働省「新型コロナウイルスのPCR検査総実施件数（都道府県別）」をもとに筆者作図

# 図5 今後1週間（11月15日-21日）の発生見込み数

分析データ： 新規陽性者数、年齢群別・医療県別入院率； 沖縄県  
 年齢群別重症化率； 厚生労働省  
 平均期間（入院・重症）； HER-SYS

	新規陽性者数（確定日）			入院患者数※			重症患者数※		
	0.5	1.0	1.5	0.5	1.0	1.5	0.5	1.0	1.5
実効再生産数	0.5	1.0	1.5	0.5	1.0	1.5	0.5	1.0	1.5
北部	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
中部	5	11	22	2	3	4	0.0	0.1	0.1
那覇市	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
南部	3	7	14	2	2	3	0.1	0.1	0.1
宮古	0	1	2	0	0	0	0.0	0.0	0.0
八重山	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
合計	9	19	38	4	5	7	0	0	0

※ 11月21日時点の見込み数